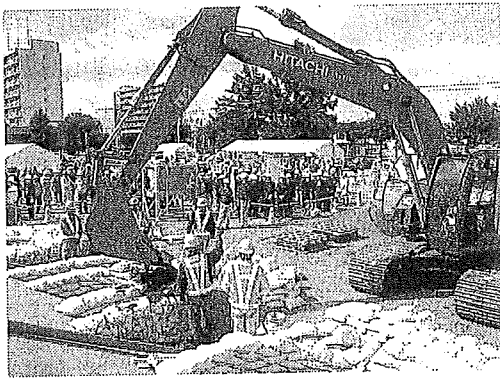


# 北海道建設新聞

## 小中学生が土のう積み体験 宮坂建設工業が防災訓練



【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は26日、大地震などの自然災害に備え、2008年度防災訓練を実施した。写真。メイン会場の帯広中央公園には、

建設業者をはじめ、行政機関の防災担当者や地元商店街関係者・小中学生らを招き、水防訓練などを通じて防災知識の習得に努めた。  
ことしも03年十勝沖地

震が発生した9月26日に実施。帯広市近郊で震度5強の地震が発生したという想定の下、同社社員と協力業者が一斉に河川や建築物、工事現場などを点検。本社と札幌支店をテレビ会議システムでつなぎ、被害状況などの把握や災害復旧に向けた連携を深めた。

帯広中央公園での訓練には、地元商店街関係者や柏小3年生80人と帯広工高建築科3年生40人が参加。重機を用いた水防訓練では、土のう袋の作り方を体験したほか、帯広市消防本部の協力による消火・放水訓練、無線重機模擬運転、各種ブースでの防災グッズ展示なども行われた。  
炊き出し訓練も行われ、豚汁とおにぎりが振る舞われた。

# 北海道建設新聞

## 住民参加し 防災訓練を

宮坂建設工業

【岩見沢】宮坂建設工業(本社・帯広)札幌支店は26日、由仁町内の現場で防災訓練を実施。社員、地域住民、地元小学生ら60人が一に備えての防災対策を学んだ。写真。

こととして3回目となる同社札幌支店主催の防災訓練。2003年に十勝沖地震が発生した9月26日を訓練の日と定め、実施している。今回は札幌開建が発注した由仁町川端地区にある道央注水工本中三川現場事務所内で

実施した。

福田信行支店長は訓練を前に「昨今、雨や地震などの災害が増えてきて



いる。地域の方にも参加していただき、不測の事態の際に活用してほしい」とあいさつ。

地元住民と川端小学校の児童も参加し消火器の使い方、火災煙の疑似体験などを行った。参加者は、再現された煙の中を通るなど全く周りの見

えない状況を体験し、火災の恐ろしさと防災への意識を強くしていた。

午後からは、一般救命講習を行った。